

# 高校再編県民フォーラム及び高校再編に関する意見募集の実施結果（意見要旨）

R4. 9. 6 教育委員会事務局総務課

## 1 高校再編県民フォーラムの実施状況

|       | 実施日      | 会場                      | 参加人数     | 意見発言者 | 意見提出者 |
|-------|----------|-------------------------|----------|-------|-------|
| 1     | 6月18日（土） | 日光市中央公民館                | 22名      | 4名    | 11名   |
| 2     | 6月18日（土） | 那須野が原ハーモニーホール           | 23名      | 3名    | 12名   |
| 3     | 6月19日（日） | あしかがフラワーパークプラザ（足利市民プラザ） | 22名      | 4名    | 15名   |
| 4     | 6月25日（土） | 烏山公民館                   | 40名      | 6名    | 14名   |
| 5     | 6月25日（土） | 市民“いちご”ホール（真岡市民会館）      | 22名      | 5名    | 15名   |
| 6     | 7月2日（土）  | 栃木県総合教育センター             | 48名(28)  | 5名    | 12名   |
| 7     | 7月3日（日）  | とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）    | 23名      | —     | 11名   |
| 7会場 計 |          |                         | 200名(28) | 27名   | 90名   |

※（ ）内は Zoom による参加者数で内数

## 2 高校再編に関する意見募集への提出状況

### (1) 募集期間

令和4（2022）年6月18日（土）から8月31日（水）まで

### (2) 提出状況 ※県民フォーラム会場での提出を除く

22名（保護者11、小学生1、教育関係者2、同窓生2、地域住民6）

## 3 高校再編県民フォーラムでの意見発言者及び高校再編に関する意見提出者の主な意見の要旨

※ フォーラムと意見募集合わせて、延べ139名からの御意見を43件の意見要旨に整理

※（ ）内の数字は類似意見の発言者及び意見提出者の数。発言と意見提出で重複した意見も含む

### (1) これからの高校教育に求められる役割、育成すべき資質・能力について

- 将来に向け、自分の未来が描けるよう、たくましさや生きる力を育成できる学校をつくって欲しい。(4)
- 高校で、地域を支える人材育成を推進して欲しい。(9)
- プロフェッショナル人材を目指せる教育やアントレプレナーシップ教育（起業家教育）を行って欲しい。(1)

### (2) 学科の特色に応じた教育活動の充実について

- 地域の特色・実情やこれまでの学校の取組などを踏まえて学科・コースの設置等を検討すべき。(7)
- 職業系専門学科は、学科横断的な学びなど時代に合わせた改編が必要である。(2)

### (3) 生徒の資質・能力を最大限に伸長する特色・魅力ある学びについて

- 県立高校を魅力あるものにして欲しい。(4)
- 中高一貫教育校は設置拡充していくのが良い。(3)
- 併設型中高一貫教育校は、高校からの募集を停止して中等教育学校へ転換するのが良い。(4)
- 附属中学校2学級程度、高校7学級程度の併設型中高一貫教育校を設置して欲しい。(1)
- 多様な科目を開設できる単位制の設置拡充が望まれる。(2)
- 義務教育段階の学習内容を学び直しできる学校を設置して欲しい。(4)
- 高校に通級指導教室を作って欲しい。(1)

### (4) 定時制・通信制課程における多様な学習ニーズへの対応について

- 多様な生徒を受け入れるためのフレックス・ハイスクールを設置してはどうか。(3)
- 県北地域にも通信制高校を設置して欲しい。(1)
- 通信制高校等で取得した単位を、他の高校で柔軟に認定できる制度にして欲しい。(1)

**(5) 高校教育に係る制度や整備等の在り方について**

- 特色選抜は今後も継続して欲しい。(1)
- 特色選抜は廃止して良いのではないか。(5)
- 本県でも二次募集を実施して欲しい。(6)
- 一般選抜にマークシートを導入してはどうか。(1)
- 職業系専門学科では、施設整備を充実させることが大切である。(2)

**(6) 高校再編に係る基本的な考え方と学校・学科等の適正な配置について**

- 生徒数が減少する中、教育の質の維持向上の観点から統廃合は避けられない。(10)
- 県立高校は、ある程度の学校規模を確保すべき。(5)
- 生徒数が減少しても、県の周辺地域の高校を存続させて欲しい。(12)
- 県の周辺地域では、小規模であっても学びの機会を確保して欲しい。(3)
- 地元の学校を存続させたい地域では、他県のように県立高校を市や町に移管してはどうか。(1)
- 遠隔地の生徒が通学しやすいよう寮の整備や交通費の補助を検討してはどうか。(3)
- 地域内の高校の選択肢を減らさないで欲しい。(2)
- 男女別学校はこれまでの伝統を守りながら、今後も維持して欲しい。(3)
- 男女別学校の共学化を進めるべきである。(10)
- 男女別学校を維持するのであれば、説明が必要である。(1)

**(7) 高校再編の進め方について**

- 今後は、「県立高校の在り方検討会議」からの提言を生かして進めて欲しい。(6)
- 高校再編を進めるに当たっては、生徒、保護者、地域の声を良く聞いた上で、実施して欲しい。(4)
- 統合した高校を再度統合するような2段階の統合よりも、1回の大規模な統合を行う方が望ましい。(1)
- 長期的な再編に対応しやすいような学校名にすると良い。(1)
- 県の負担により、1学級の定員を40名から引き下げ、35人等にできないか。(7)
- 情報教育の充実に向けて、教員の質を確保して欲しい。(1)
- 労働環境の向上などにより、教員を魅力的な仕事にする必要がある。(2)
- 高校の教員に必要な資質・能力に関する提言も必要ではないか。(1)
- 特別な支援を必要とする生徒に対する配慮を検討して欲しい。(4)

**(8) フォーラムについての感想**

- 高校再編県民フォーラムの説明はわかりやすく、よく理解することができた。(24)
- フォーラムの内容が難しかった。(2)
- 具体的な再編の内容を説明して欲しかった。(4)
- もっと参加者が多いと良かった。(13)